平成26年３月期　第３四半期決算短信［日本基準］（連結）

平成26年２月３日

上 場 会 社 名 アステラス製薬株式会社　　上 場 取 引 所 東証一部
コ ー ド 番 号 4503　　U　R　L http://www.astellas.com/jp/
代　　表　　者（役職名）代表取締役社長　（氏名）畑中　好彦
問合せ先責任者（役職名）広報部長　（氏名）河村　真　　ＴＥＬ　(03)3244-3201
四半期報告書提出予定日　平成26年２月７日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有　・　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　・　無　（証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	887,405	17.5	152,047	12.6	148,578	8.9	81,464	△3.7
25年３月期第３四半期	755,193	△1.1	135,046	△7.8	136,401	△9.0	84,636	△14.2

（注）包括利益　26年３月期第３四半期　186,699百万円（66.2%）
　　25年３月期第３四半期　112,345百万円（274.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年３月期第３四半期	180　90	180　63
25年３月期第３四半期	183　60	183　36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	1,565,175	1,160,372	74.0
25年３月期	1,445,561	1,062,025	73.3

（参考）自己資本　26年３月期第３四半期　1,158,307百万円　25年３月期　1,060,089百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年３月期	－	65　00	－	65　00	130　00
26年３月期	－	65　00	－	―――――	―――――
26年３月期（予想）	―――――	―――――	―――――	70　00	135　00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　有　・　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	1,155,000	14.9	170,000	10.5	170,000	8.2	95,000	14.7	211　44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有　・　無

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：　有・[無]
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　[有]・無

（注）詳細は、添付資料P.７「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：　有・[無]
②　①以外の会計方針の変更　：　有・[無]
③　会計上の見積りの変更　：　有・[無]
④　修正再表示　：　有・[無]

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年３月期第３四半期	456,964,635株	25年３月期	467,964,635株

②　期末自己株式数

26年３月期第３四半期	10,757,994株	25年３月期	16,788,579株

③　期中平均株式数（四半期累計）

26年３月期第３四半期	450,330,463株	25年３月期第３四半期	460,973,446株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.６「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信とあわせて開示しています。

また、平成26年２月３日（月）に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… Ｐ．２
（１）経営成績に関する説明 …… Ｐ．２
（２）財政状態に関する説明 …… Ｐ．５
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… Ｐ．６
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… Ｐ．７
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… Ｐ．７
３．四半期連結財務諸表 …… Ｐ．８
（１）四半期連結貸借対照表 …… Ｐ．８
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… Ｐ．９
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… Ｐ．９
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… Ｐ．10
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… Ｐ．11
（継続企業の前提に関する注記） …… Ｐ．11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… Ｐ．11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期（２０１３年４月１日から１２月３１日）の連結業績は、以下の通り売上高は増収、営業利益、経常利益は増益、四半期純利益は減益となりました。

［連結業績］　（単位：百万円、端数切捨て）

	前年第３四半期 （２０１３年３月期）	**当第３四半期 （２０１４年３月期）**	対前年同期増減額 （増減率）
売　上　高	７５５,１９３	**８８７,４０５**	１３２,２１１ （１７.５％）
営 業 利 益	１３５,０４６	**１５２,０４７**	１７,０００ （１２.６％）
経 常 利 益	１３６,４０１	**１４８,５７８**	１２,１７６ （８.９％）
四半期純利益	８４,６３６	**８１,４６４**	△３,１７２ （△３.７％）

（注）包括利益　**当第３四半期**　**186,699百万円**（対前年同期増減率　66.2%）

前年第３四半期　112,345百万円

＜研究開発費＞　（単位：百万円、端数切捨て）

	前年第３四半期	**当第３四半期**	増減
研究開発費	１３４,１６５	**１５５,９７７**	２１,８１２

＜為替レート＞

期中平均レート	前年第３四半期	**当第３四半期**	変動
円/米ドル	８０円	**９９円**	１９円安
円/ユーロ	１０２円	**１３２円**	３０円安

期首・期末の変動	前年第３四半期	**当第３四半期**
円/米ドル	４円安	**１１円安**
円/ユーロ	５円安	**２４円安**

【為替の業績への影響】

当第３四半期の為替レートは、上表の通りです。これらの結果、売上高においては９６８億円の増収、営業利益においては１９１億円の増益の影響がありました。

【売上高】

連結売上高は８，８７４億円（前年同期比１７．５％増）となりました。

・ 新製品の前立腺がん治療剤 XTANDI、過活動膀胱治療剤**ベタニス／ミラベトリック／ベットミガ**などが売上増加に寄与しました。また、過活動膀胱治療剤**ベシケア**などが引き続き伸長しました。このほか、免疫抑制剤**プログラフ**、前立腺肥大症の排尿障害改善剤**ハルナール**は、為替の影響などもあり売上が増加しました。

（地域別売上高の状況）

※地域別売上高については売上元会社の所在地に基づき集計しています。

◇ 日本

日本の売上高は４，２５８億円（同１．５％減）となりました。このうち、国内市場での売上高は４，１５０億円（同０．４％減）となりました。後発医薬品の影響を受けましたが、主力の成長品と新製品の拡大により、微減に留まりました。

・ **ベタニス**のほか、高血圧症治療剤**ミカルディス**（配合剤の**ミコンビ**及び**ミカムロ**を含む）、消炎鎮痛剤**セレコックス**、成人気管支喘息治療剤**シムビコート**、骨粗鬆症治療剤**ボノテオ**などが伸長しました。また、成人関節リウマチ治療剤**シムジア**、前立腺がん治療剤**ゴナックス**などの新製品が売上に寄与しました。

・ 高コレステロール血症治療剤**リピトール**や統合失調症治療剤**セロクエル**、入眠剤**マイスリー**、消化性潰瘍・胃炎治療剤**ガスター**などの売上は、後発医薬品の影響などにより減少しました。

・ なお、２０１３年５月に高血圧症治療剤**ミカムロ** BP（配合剤）、同年６月に機能性ディスペプシア治療剤**アコファイド**、同年９月に経皮吸収型高血圧症治療剤**ビソノテープ**をそれぞれ発売しました。

◇ 海外

米州の売上高は２，１８３億円（同４８．３％増）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は２，１９７百万ドル（同１９．４％増）となりました。

・ 米国において２０１２年９月に発売した XTANDI、同年１０月に発売した**ミラベトリック**が売上増加に寄与しました。

・ また、**ベシケア**、心機能検査補助剤**レキスキャン**が伸長したほか、抗がん剤**タルセバ**の収入が増加しました。

・ **プログラフ**は、後発医薬品の影響を受けましたが、為替の影響もあり売上が増加しました。

欧州*の売上高は１，９９９億円（同３８．２％増）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は１，５１２百万ユーロ（同６．７％増）となりました。

*欧州地域のほか、中近東・アフリカの売上が含まれます。

・ **ベシケア**、キャンディン系抗真菌剤**マイカミン**が伸長したほか、２０１３年７月に発売した XTANDI が売上増加に寄与しました。また、**プログラフ**、**ハルナール**、前立腺がん治療剤**エリガード**の売上は為替の影響もあり増加しました。

アジア・オセアニアの売上高は４３２億円（同４０．７％増）となりました。

・ **プログラフ**、**ハルナール**、**ベシケア**などの売上が拡大し、増収となりました。

【営業利益】

連結営業利益は１，５２０億円（同１２．６％増）となりました。

・ 売上高の増加に加えて、売上原価率が低下したことから、売上総利益は６，１４５億円（同２０．６％増）となりました。なお、売上原価率は、製品構成の変化などにより前年同期に比べ１．８ポイント低下し、３０．７％となりました。
・ 販売費及び一般管理費合計は為替の影響もあり、４，６２４億円（同２３．５％増）となりました。
・ このうち、研究開発費は、主として為替の影響により、１，５５９億円（同１６．３％増）となりました。対売上高研究開発費比率は、前年同期に比べ０．２ポイント低下し、１７．６％となりました。
・ また、研究開発費を除く販売費及び一般管理費は、為替の影響に加え、米国での XTANDI の共同販促費用を含む欧米がんビジネス関連費用の増加などもあり、３，０６５億円（同２７．５％増）となりました。

【経常利益】

連結経常利益は１，４８５億円（同８．９％増）となりました。

・ 営業外収益は前年同期と同水準の２０億円となりました。
・ 営業外費用は、為替差損４９億円を計上したことなどから、前年同期に比べ４７億円増加し、５５億円となりました。

【四半期純利益】

連結四半期純利益は８１４億円（同３．７％減）となりました。

・ 特別利益は、投資有価証券売却益２１億円を計上したことなどから、２５億円となりました。
・ 特別損失は、プロジェクトの開発中止に伴う特許権などの減損損失２２７億円のほか、研究体制の再編及び富士工場の日医工株式会社への承継に伴う事業再編費用７４億円などを計上したことから、３２１億円となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期末の連結貸借対照表の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

【資産】

当第３四半期末（２０１３年１２月３１日時点）における総資産は、１兆５，６５１億円（前期末比１，１９６億円増）となりました。

＜流動資産＞当第３四半期末：９，４５０億円（同１，１７８億円増）

・現金及び預金が６９６億円、受取手形及び売掛金が３４９億円、たな卸資産が１６０億円増加しました。

・有価証券が１２４億円減少しました。

＜固定資産＞当第３四半期末：６，２０１億円（同１７億円増）

・有形固定資産は、２，２３７億円（同５２億円増）となりました。

・無形固定資産は、２，７９５億円（同１５３億円減）となりました。

・投資その他の資産は、１，１６８億円（同１１７億円増）となりました。

【負債】

負債の合計は、４，０４８億円（同２１２億円増）となりました。

＜流動負債＞当第３四半期末：３，４０９億円（同２７３億円増）

＜固定負債＞当第３四半期末：６３８億円（同６１億円減）

【純資産】

純資産は、１兆１，６０３億円（同９８３億円増）となり、自己資本比率は７４．０％となりました。

・四半期純利益８１４億円を計上した一方で、剰余金の配当５８６億円、自己株式取得２９９億円を実施しました。

なお、為替換算調整勘定が純資産の増加方向に９７１億円変動しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

［通期連結業績予想］ （単位：百万円、端数切捨て）

	２０１３年３月期 通期実績	**２０１４年３月期 通期予想**	増減額 （増減率）
売　上　高	１,００５,６１１	**１,１５５,０００**	１４９,３８８ （１４.９％）
営 業 利 益	１５３,８６７	**１７０,０００**	１６,１３２ （１０.５％）
経 常 利 益	１５７,１５６	**１７０,０００**	１２,８４３ （８.２％）
当期純利益	８２,８５１	**９５,０００**	１２,１４８ （１４.７％）

（注１） ２０１３年１１月に公表しました２０１４年３月期通期連結業績予想の前提となる想定為替レートは、**９９円／米ドル、１３０円／ユーロ**です。
２０１３年３月期 通期の為替レート（実績）は、８３円／米ドル、１０７円／ユーロです。
（注２）当社は、２０１４年３月期決算より国際会計基準（IFRS）を任意適用する予定ですが、２０１４年３月期の通期連結業績予想は引き続き日本基準に基づき作成しています。

通期連結業績予想は上表の通りです。前期実績に対し、売上高は増収、各利益段階につきましては増益を予想しています。

なお、売上高、営業利益、経常利益につきましては、２０１３年１１月に公表しました前回予想を据え置き修正はしていません。但し、当期純利益につきましては、前回予想に織り込んでいなかった特許権の減損損失（当第３四半期に計上）や所有不動産の売却益（第４四半期に計上見込み）等を織り込み、前回予想を５０億円下方修正しています。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の法人税等の負担率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該負担率を乗じて計算しています。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	233,814	303,437
受取手形及び売掛金	286,068	321,065
有価証券	78,862	66,370
たな卸資産	128,180	144,233
その他	102,190	112,024
貸倒引当金	△1,926	△2,064
流動資産合計	827,189	945,067
固定資産		
有形固定資産	218,478	223,740
無形固定資産		
のれん	95,977	101,913
特許権	138,069	120,383
その他	60,793	57,240
無形固定資産合計	294,841	279,537
投資その他の資産		
投資有価証券	61,646	72,197
その他	43,427	44,645
貸倒引当金	△22	△13
投資その他の資産合計	105,051	116,829
固定資産合計	618,371	620,107
資産合計	1,445,561	1,565,175
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,834	114,910
未払法人税等	10,473	22,272
引当金	4,474	5,094
その他	195,752	198,658
流動負債合計	313,536	340,935
固定負債		
退職給付引当金	18,273	19,705
その他	51,726	44,162
固定負債合計	69,999	63,867
負債合計	383,535	404,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,000	103,000
資本剰余金	176,821	176,821
利益剰余金	917,511	892,850
自己株式	△72,284	△54,641
株主資本合計	1,125,048	1,118,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,966	24,055
為替換算調整勘定	△80,925	16,220
その他の包括利益累計額合計	△64,959	40,276
新株予約権	1,936	2,064
純資産合計	1,062,025	1,160,372
負債純資産合計	1,445,561	1,565,175

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	755,193	887,405
売上原価	245,668	272,867
売上総利益	509,525	614,538
販売費及び一般管理費	374,479	462,491
営業利益	135,046	152,047
営業外収益		
受取利息	509	477
受取配当金	1,071	865
持分法による投資利益	15	293
その他	602	441
営業外収益合計	2,198	2,076
営業外費用		
為替差損	327	4,917
その他	515	628
営業外費用合計	842	5,546
経常利益	136,401	148,578
特別利益		
固定資産売却益	232	283
投資有価証券売却益	345	2,165
その他	211	57
特別利益合計	789	2,506
特別損失		
固定資産除売却損	511	545
減損損失	12,090	22,703
事業再編費用	－	7,405
その他	2,118	1,522
特別損失合計	14,719	32,176
税金等調整前四半期純利益	122,471	118,908
法人税等	37,835	37,444
少数株主損益調整前四半期純利益	84,636	81,464
四半期純利益	84,636	81,464

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	84,636	81,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,669	8,089
為替換算調整勘定	29,377	97,146
その他の包括利益合計	27,708	105,235
四半期包括利益	112,345	186,699
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,345	186,699
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

2014年3月期第3四半期決算　補足情報

【業績情報】

１．連結損益の詳細
２．地域別売上高・営業利益
３．為替レートの状況
４．研究開発費の状況
５．減価償却費の状況
６．主要製品の売上高
７．連結貸借対照表

【開発品情報】

新薬開発状況

【業績情報】

1. 連結損益の詳細

(億円)

	13/3期 3Q	14/3期 3Q	増減	増減率	13/3期 通期	2013年11月公表 14/3期 前回予想	*当期純利益の通期予想を修正 2014年2月公表 14/3期 今回予想*	増減率 (対13/3期)
売上高	7,551	8,874	1,322	17.5%	10,056	11,550	11,550	14.9%
売上原価	2,456	2,728	271	11.1%	3,241			
(売上高比率)	32.5%	30.7%			32.2%			
売上総利益	5,095	6,145	1,050	20.6%	6,814			
販売費・一般管理費	3,744	4,624	880	23.5%	5,276			
(売上高比率)	49.6%	52.1%			52.5%			
研究開発費	1,341	1,559	218	16.3%	1,819	2,120	2,120	16.5%
研究開発費を除く販売費・一般管理費	2,403	3,065	661	27.5%	3,456			
内、広告費・販売促進費	564	820	255	45.2%	864			
内、人件費	1,001	1,196	194	19.4%	1,397			
内、その他費用	836	1,049	212	25.3%	1,194			
営業利益	1,350	1,520	170	12.6%	1,538	1,700	1,700	10.5%
(売上高比率)	17.9%	17.1%			15.3%	14.7%	14.7%	
営業外収益	21	20	−1	−5.5%	40			
営業外費用	8	55	47	558.0%	7			
内、為替差損	3	49	45	−	−			
経常利益	1,364	1,485	121	8.9%	1,571	1,700	1,700	8.2%
(売上高比率)	18.1%	16.7%			15.6%	14.7%	14.7%	
特別利益	7	25	17	217.4%	58			
内、固定資産売却益	2	2	0	21.7%	2			
内、投資有価証券売却益	3	21	18	527.4%	54			
特別損失	147	321	174	118.6%	382			
内、固定資産除売却損	5	5	0	6.6%	7			
内、減損損失	120	227	106	87.8%	347			
内、事業再編費用	−	74	74	−	−			
税金等調整前当期純利益（税金等調整前四半期純利益）	1,224	1,189	−35	−2.9%	1,246			
法人税等	378	374	−3	−1.0%	418			
当期純利益（四半期純利益）	846	814	−31	−3.7%	828	1,000	950	14.7%
(売上高比率)	11.2%	9.2%			8.2%	8.7%	8.2%	
包括利益	1,123	1,866	743	66.2%	1,528			

2. 地域別売上高・営業利益

（億円）

		13/3期 3Q	14/3期 3Q	増減	増減率	13/3期 通期	14/3期 通期予想	増減率 (対13/3期)
外部売上高		7,551	8,874	1,322	17.5%	10,056	11,550	14.9%
	日本	4,324	4,258	−66	−1.5%	5,575	5,568	−0.1%
	（構成比）	57.3%	48.0%			55.4%	48.2%	
	米州	1,472	2,183	711	48.3%	2,087	2,804	34.4%
	（構成比）	19.5%	24.6%			20.8%	24.3%	
	欧州	1,447	1,999	552	38.2%	1,964	2,607	32.7%
	（構成比）	19.2%	22.5%			19.5%	22.6%	
	アジア・オセアニア	307	432	124	40.7%	429	569	32.7%
	（構成比）	4.1%	4.9%			4.3%	4.9%	
営業利益		1,350	1,520	170	12.6%	1,538	1,700	10.5%
	日本	734	562	−171	−23.4%			
	（構成比）	54.4%	37.0%					
	米州	196	352	156	79.5%			
	（構成比）	14.5%	23.2%					
	欧州	428	685	256	59.7%			
	（構成比）	31.8%	45.1%					
	アジア・オセアニア	33	51	18	54.0%			
	（構成比）	2.5%	3.4%					
	消去または全社	−42	−131	−88				

注1：売上元会社の所在地に基づき集計。

注2：欧州には、中近東・アフリカを含む。

3. 為替レートの状況

*2013年11月公表

	13/3期 3Q	14/3期 3Q	13/3 期末	13/12 期末	13/3期 通期	14/3期 通期想定*
円／USD	80	99	94	105	83	99
円／EUR	102	132	121	145	107	130

＊為替レートの変動により、当第3四半期において売上高で968億円の増収、営業利益においては191億円の増益の影響がありました。

4. 研究開発費の状況

（億円）

	13/3期 3Q	14/3期 3Q	増減	増減率	13/3期 通期	14/3期 通期予想	増減率 （対13/3期）
研究開発費	1,341	1,559	218	16.3%	1,819	2,120	16.5%
（対売上高比率）	17.8%	17.6%			18.1%	18.4%	

5. 減価償却費の状況

（億円）

		13/3期 3Q	14/3期 3Q	増減	増減率	13/3期 通期	14/3期 通期予想	増減率 （対13/3期）
減価償却費(有形)								
	連結	127	168	40	32.1%	176	220	24.5%
減価償却費(無形)								
	連結	215	289	73	34.3%	297	380	27.6%
※のれん償却額（上記 減価償却費（無形）には含まず）		87	43			103	58	
Agensys		51	－			53	－	
OSI		35	43			48	58	

6. 主要製品の売上高

1) グローバル製品

（億円）

	13/3期 3Q	14/3期 3Q	増減	増減率	13/3期 通期	14/3期 通期予想	増減率 （対13/3期）
プログラフ	1,193	1,379	185	15.5%	1,617	1,778	10.0%
自社販売計	1,161	1,343	181	15.6%	1,573	1,734	10.3%
国内（グラセプター含む）	376	391	14	3.9%	494	508	2.9%
米州	223	232	9	4.1%	314	289	−8.1%
欧州	427	535	108	25.4%	575	689	19.8%
内、アドバグラフ	128	180	52	40.7%	180		
アジア・オセアニア	134	183	48	36.4%	189	247	31.0%
輸出外部売上	31	36	4	13.2%	44	43	−0.8%
ハルナール	408	464	56	13.8%	540	597	10.6%
自社販売計	378	428	49	13.2%	500	549	9.7%
国内	178	159	−18	−10.5%	229	208	−9.1%
欧州	115	151	35	31.1%	154	185	20.5%
アジア・オセアニア	78	112	33	43.4%	108	147	35.5%
バルク・ロイヤリティ等	29	35	6	20.9%	39	47	22.3%
ベシケア	797	1,015	217	27.3%	1,099	1,300	18.3%
国内	226	221	−4	−2.2%	298	304	2.1%
米州	335	442	107	32.1%	468	547	17.0%
欧州	214	317	103	48.5%	301	401	33.4%
アジア・オセアニア	20	29	9	43.8%	29	41	41.0%
ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ	37	190	153	414.5%	69	260	274.7%
国内	32	80	48	150.8%	53	111	109.4%
米州	5	98	93	−	16	130	701.0%
欧州	−	11	11	−	0	18	−
ファンガード/マイカミン	231	277	45	19.5%	307	361	17.8%
国内	101	97	−4	−4.1%	129	128	−0.6%
米州	70	90	20	28.6%	94	110	16.2%
欧州	42	64	22	52.0%	59	91	52.6%
アジア・オセアニア	16	23	6	41.7%	23	31	36.4%
プロトピック	132	188	55	42.2%	178	237	33.1%
国内	26	26	0	0.7%	34	35	2.5%
米州	59	92	33	55.4%	79	110	39.4%
欧州	32	49	16	49.0%	46	63	37.2%
アジア・オセアニア	12	18	6	49.5%	17	26	55.8%
XTANDI	57	368	310	543.5%	122		
米国	57	315	257	450.9%	122	397	225.8%
米国以外	−	52	52	−	0		
内、米州（米国以外）	−	5	5	−	−		
内、欧州*	−	47	47	−	0		
内、アジア・オセアニア	−	0	0	−	−		
エリガード	109	138	29	27.1%	149		
欧州	109	138	29	27.0%	149	191	28.1%
アジア・オセアニア	−	0	0	−	−		

*フランスでの"Temporary authorization for use"に伴う売上を含む。

注1：個別製品の売上高のうち、国内売上高の開示は仕切価ベース。

注2：欧州には、中近東・アフリカを含む。

2）日本の主要製品

（億円）

＜グローバル品（再掲）＞	13/3期 3Q	14/3期 3Q	増減	増減率	13/3期 通期	14/3期 通期予想	増減率 （対13/3期）
プログラフ（グラセプター含む）	376	391	14	3.9%	494	508	2.9%
ハルナール	178	159	−18	−10.5%	229	208	−9.1%
ベシケア	226	221	−4	−2.2%	298	304	2.1%
ベタニス	32	80	48	150.8%	53	111	109.4%
ファンガード	101	97	−4	−4.1%	129	128	−0.6%
プロトピック	26	26	0	0.7%	34	35	2.5%
＜国内製品＞							
リピトール [ファミリー]	551	494	−56	−10.2%	706	630	−10.8%
内、カデュエット	72	82	9	12.5%	96		
ミカルディス [ファミリー]	701	756	54	7.8%	896	980	9.3%
内、ミコンビ	89	91	1	1.8%	115		
内、ミカムロ	119	161	42	35.6%	156		
ガスター	236	204	−31	−13.5%	302	267	−11.7%
マイスリー	253	219	−34	−13.4%	322	273	−15.1%
セロクエル	230	156	−73	−32.1%	285	196	−31.1%
ワクチン	246	292	45	18.6%	288	341	18.5%
セフゾン	56	50	−6	−11.0%	71	64	−10.8%
フランドル	67	62	−4	−7.1%	86	81	−6.1%
セレコックス	285	322	37	13.2%	374	448	19.7%
ジェニナック	94	93	−0	−0.7%	123	138	12.2%
ボノテオ	78	103	24	31.3%	106	140	31.8%
シムビコート	204	256	52	25.5%	277	356	28.6%
アーガメイト	46	46	0	1.1%	61	62	2.1%
キックリン	3	10	6	198.0%	5	14	156.2%
ゴナックス	3	17	14	459.5%	6	29	351.3%
シムジア	−	22	22	−		45	
国内医薬品　計	4,165	4,150	−15	−0.4%	5,357	5,404	0.9%

注：売上高の開示は仕切価ベース。

3）海外の主要製品

（億円）

		13/3期 3Q	14/3期 3Q	増減	増減率	13/3期 通期	14/3期 通期予想	増減率 （対13/3期）
スキャン※	米州	383	480	97	25.4%	531	590	11.2%
内、レキスキャン		345	451	105	30.7%	475		
アンビソーム	米州	48	63	15	32.3%	63	73	16.4%
タルセバ		263	337	74	28.2%	365		
	米国	168	216	47	28.3%	236		
	米国以外	94	121	26	28.1%	129		
キューテンザ	欧州	6	10	4	66.5%	8		
ディフィクリア	欧州		9					

※アデノスキャンとレキスキャンの合算

4）欧米地域の売上高の状況（現地通貨）

単位：M＄

米州	13/3期 3Q	14/3期 3Q	増減	増減率	13/3期 通期	14/3期 通期予想	増減率 （対13/3期）
売上高	1,840	2,197	356	19.4%	2,511	2,820	12.3%
プログラフ	279	234	−45	−16.2%	378	291	−23.2%
スキャン※	479	483	4	0.9%	639	594	−7.1%
内、レキスキャン	431	453	22	5.2%	572		
アンビソーム	60	64	3	6.5%	76	74	−2.7%
プロトピック	74	93	18	25.1%	95	110	16.5%
ベシケア	418	445	26	6.3%	563	550	−2.2%
ミラベトリック	6	99	93	−	19	131	569.5%
マイカミン	88	91	3	3.5%	114	111	−2.8%
タルセバ	329	340	10	3.2%	439		
米国	211	217	6	3.3%	284		
米国以外	118	122	3	3.1%	155		
XTANDI	71	322	250	350.7%	146		
米国	71	317	245	343.4%	146	400	172.3%
米州（米国以外）	−	5	5	−	−		

※アデノスキャンとレキスキャンの合算

単位：M€

欧州	13/3期 3Q	14/3期 3Q	増減	増減率	13/3期 通期	14/3期 通期予想	増減率 （対13/3期）
売上高	1,416	1,512	95	6.7%	1,833	2,005	9.4%
ハルナール	142	141	−0	−0.3%	180	179	−0.4%
自販 計	113	114	1	1.3%	143	143	−0.7%
内、カプセル	50	55	5	11.7%	63	70	11.5%
内、OCAS	63	58	−4	−7.0%	80	72	−10.3%
バルクロイヤリティ	28	27	−1	−6.5%	36	36	0.8%
プログラフ	448	431	−16	−3.8%	577	563	−2.3%
自販 計	418	405	−12	−3.1%	536	530	−1.3%
内、アドバグラフ	125	136	10	8.7%	168		
輸出外部売上	30	26	−4	−13.2%	40	33	−16.7%
ベシケア	209	240	30	14.8%	280	309	10.0%
ベットミガ	−	8	8	−	0	14	−
プロトピック	32	37	4	15.1%	43	49	13.1%
マイカミン	41	49	7	17.4%	55	70	25.8%
エリガード	106	104	−2	−1.9%	139	147	5.6%
キューテンザ	6	7	1	28.6%	8		
ディフィクリア		6					
XTANDI*	−	36	36	−	0		

*フランスでの"Temporary authorization for use"に伴う売上を含む。

注：欧州には、中近東・アフリカを含む。

7. 連結貸借対照表

（億円:億円未満切捨て表示）

科目	2013年3月末 金額	2013年12月末 金額	増減
資産合計	**14,455**	**15,651**	**1,196**
流動資産	**8,271**	**9,450**	**1,178**
現金及び預金	2,338	3,034	696
受取手形及び売掛金	2,860	3,210	349
有価証券	788	663	−124
たな卸資産	1,281	1,442	160
その他	1,021	1,120	98
貸倒引当金	−19	−20	−1
固定資産	**6,183**	**6,201**	**17**
有形固定資産	**2,184**	**2,237**	**52**
無形固定資産	**2,948**	**2,795**	**−153**
のれん	959	1,019	59
特許権	1,380	1,203	−176
その他	607	572	−35
投資その他の資産	**1,050**	**1,168**	**117**
投資有価証券	616	721	105
その他	434	446	12
貸倒引当金	−0	−0	0

（億円：億円未満切捨て表示）

科目	2013年3月末 金額	2013年12月末 金額	増減
負債・純資産合計	**14,455**	**15,651**	**1,196**
負債合計	**3,835**	**4,048**	**212**
流動負債	**3,135**	**3,409**	**273**
支払手形及び買掛金	1,028	1,149	120
未払法人税等	104	222	117
引当金	44	50	6
その他	1,957	1,986	29
固定負債	**699**	**638**	**−61**
退職給付引当金	182	197	14
その他	517	441	−75
純資産合計	**10,620**	**11,603**	**983**
資本金	1,030	1,030	−
資本剰余金	1,768	1,768	−
利益剰余金	9,175	8,928	−246
自己株式	−722	−546	176
その他有価証券評価差額金	159	240	80
為替換算調整勘定	−809	162	971
新株予約権	19	20	1

1. グローバル開発品

(1) 申請中（最も開発の進んでいる地域のフェーズ）

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社*/ 導入	備考
MDV3100 ｴﾝｻﾞﾙﾀﾐﾄﾞ	ｱﾝﾄﾞﾛｹﾞﾝ受容体 阻害剤	前立腺がん	日本 申請 （2013年5月）	経口	Medivation	
		化学療法未治療の 転移性去勢抵抗性 前立腺がん	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅲ ｱｼﾞｱ P-Ⅲ			効能追加
		非転移性去勢抵抗性 前立腺がん	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ ｱｼﾞｱ P-Ⅲ			効能追加
		乳がん	米国/欧州 P-Ⅱ			効能追加

*共同開発により創出された化合物を含む（以下同様）

(2) P-Ⅲ～P-Ⅱ（最も開発の進んでいる地域のフェーズ）

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ｴﾙﾛﾁﾆﾌﾞ	HER1/EGFR ﾁﾛｼﾝｷﾅｰｾﾞ 阻害剤	非小細胞肺がん （MetMAbとの併用療法）、 小児上衣腫**	米国 P-Ⅲ	経口	自社 [Roche/ Genentechと 共同開発]	効能追加
ｲｻﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ	ｱｿﾞｰﾙ系 抗真菌剤	侵襲性ｱｽﾍﾟﾙｷﾞﾙｽ	米国/欧州 P-Ⅲ	注射 経口	Basilea	
		ｶﾝｼﾞﾀﾞ血症/侵襲性ｶﾝｼﾞﾀﾞ症	米国/欧州 P-Ⅲ			
ASP0113 (VCL-CB01)	ｻｲﾄﾒｶﾞﾛｳｲﾙｽ DNAﾜｸﾁﾝ	造血細胞移植時の ｻｲﾄﾒｶﾞﾛｳｲﾙｽ感染抑制	米国/欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅱ	注射	Vical	
		臓器移植時の ｻｲﾄﾒｶﾞﾛｳｲﾙｽ感染抑制	米国/欧州 P-Ⅱ			
YM905 ｿﾘﾌｪﾅｼﾝ	ﾑｽｶﾘﾝM_3 受容体拮抗剤	小児の 神経因性膀胱と過活動膀胱	米国/欧州 P-Ⅲ	経口	自社	効能追加
EB178 ｿﾘﾌｪﾅｼﾝ/ ﾐﾗﾍﾞｸﾞﾛﾝ	ｿﾘﾌｪﾅｼﾝと ﾐﾗﾍﾞｸﾞﾛﾝの 併用療法	過活動膀胱における 尿意切迫感、頻尿 及び切迫性尿失禁	欧州/米国/ ｱｼﾞｱ P-Ⅲ	経口	自社	

**小児上衣腫は効能追加ではないが、FDAに試験結果を提出予定。

(2) P-Ⅲ～P-Ⅱ（最も開発の進んでいる地域のフェーズ）（つづき）

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ﾌｨﾀﾞｷｿﾏｲｼﾝ	大環状抗菌剤	感染性腸炎 （適応菌種： ｸﾛｽﾄﾘｼﾞｳﾑ・ﾃﾞｨﾌｨｼﾙ）	日本 P-Ⅲ	経口	Cubist	
ASP1517 (FG-4592) roxadustat	HIF安定化剤	慢性腎疾患（保存期および 透析期）に伴う貧血	欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅱ	経口	FibroGen	
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	FibroGen	
ASP4130 ﾁﾎﾞｻﾞﾆﾌﾞ	血管内皮 細胞増殖因子 (VEGF) 受容体1,2,3 阻害剤	大腸がん、乳がん	米国/欧州 P-Ⅱ	経口	AVEO	
ASP7487 (OSI-906) ﾘﾝｼﾁﾆﾌﾞ	IGF-1R/IR ﾁﾛｼﾝｷﾅｰｾﾞ 阻害剤	卵巣がん	米国 P-Ⅱ	経口	自社	
ASP015K	JAK阻害剤	関節ﾘｳﾏﾁ	日本 P-Ⅱ （米国/欧州 P-Ⅱ*）	経口	自社	
ASKP1240	抗CD40抗体	臓器移植における 拒絶反応の抑制	米国 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	注射	協和発酵 ｷﾘﾝ	
ASP3652	求心性神経活動 抑制	膀胱痛症候群/ 間質性膀胱炎	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	自社	
ASP1707	GnRH受容体 ｱﾝﾀｺﾞﾆｽﾄ	子宮内膜症	欧州/日本 P-Ⅱ	経口	自社	
		前立腺がん	欧州 P-Ⅰ			
ASP4901 (AKP-002)	PDE9阻害剤	前立腺肥大症に伴う排尿障害	日本 P-Ⅱ	経口	あすか製薬	
ASP8477	中枢感作抑制	神経因性疼痛	欧州 P-Ⅱ	経口	自社	

*日本を除く全世界の開発・商業化の権利をJanssen Biotech社に導出したが、P-Ⅱb試験をアステラスが継続して実施。

2. ローカル開発品：日本

(1) 承認

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	製品名 （承認時期）	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
ﾐﾀﾞｿﾞﾗﾑ	ﾄﾞﾙﾐｶﾑ （2013年12月）	ﾍﾞﾝｿﾞｼﾞｱｾﾞﾋﾟﾝ系 催眠鎮静剤	歯科・口腔外科領域における 手術及び処置時の鎮静	日本	注射	Roche	効能追加
ASP1941 ｲﾌﾟﾗｸﾞﾘﾌﾛｼﾞﾝ	ｽｰｸﾞﾗ （2014年1月）	SGLT2阻害剤	2型糖尿病	日本	経口	自社 (寿製薬と 共同開発)	

(2) P-Ⅲ～P-Ⅱ

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
YM060 ﾗﾓｾﾄﾛﾝ	5-HT_3受容体 拮抗剤	下痢型過敏性腸症候群 女性患者	日本 P-Ⅲ	経口	自社	効能追加
YM533 ﾍﾞﾗﾌﾟﾛｽﾄ ﾅﾄﾘｳﾑ	ﾌﾟﾛｽﾀｻｲｸﾘﾝ 受容体刺激剤	慢性腎不全 （原発性・腎硬化）	日本/ｱｼﾞｱ P-Ⅲ	経口	東レ	効能追加 剤形追加
FK949E ｸｴﾁｱﾋﾟﾝ	ｾﾛﾄﾆﾝ・ﾄﾞﾊﾟﾐﾝ 拮抗剤	双極性障害における うつ状態	日本 P-Ⅲ	経口	AstraZeneca	効能追加 剤形追加
ｾﾙﾄﾘｽﾞﾏﾌﾞ ﾍﾟｺﾞﾙ	PEG化 抗TNF-α抗体	ﾒﾄﾄﾚｷｻｰﾄ未治療の関節ﾘｳﾏﾁ	日本 P-Ⅲ	注射	UCB	効能追加
ASP1585 (AMG223) ﾋﾞｷｻﾛﾏｰ	ｱﾐﾝ機能性 ﾎﾟﾘﾏｰ	保存期慢性腎不全患者に おける高ﾘﾝ血症	日本 P-Ⅲ	経口	Amgen	効能追加
ﾅﾃｸﾞﾘﾆﾄﾞ	速効・短時間型 ｲﾝｽﾘﾝ分泌促進剤	2型糖尿病 DPP-4阻害剤との併用療法	日本 P-Ⅲ	経口	味の素製薬	効能追加
ASP3550 ﾃﾞｶﾞﾚﾘｸｽ	GnRH受容体 ｱﾝﾀｺﾞﾆｽﾄ	前立腺がん （3ヶ月製剤）	日本 P-Ⅲ	注射	Ferring	剤形追加
AMG 785 romosozumab	抗ｽｸﾚﾛｽﾁﾝ抗体	骨粗鬆症	日本 P-Ⅲ	注射	Amgen [ｱｽﾃﾗｽ・ ｱﾑｼﾞｪﾝと 共同開発]	
AMG 145 evolocumab	抗PCSK-9抗体	脂質異常症	日本 P-Ⅲ	注射	Amgen [ｱｽﾃﾗｽ・ ｱﾑｼﾞｪﾝと 共同開発]	
AMG 102 rilotumumab	抗HGF抗体	胃がん	日本 P-Ⅲ	注射	Amgen [ｱｽﾃﾗｽ・ ｱﾑｼﾞｪﾝと 共同開発]	
ASP7374	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞﾜｸﾁﾝ	季節性ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞの予防	日本 P-Ⅲ	注射	UMNﾌｧｰﾏ	
ASP7373	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞﾜｸﾁﾝ	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ(H5N1)の予防	日本 P-Ⅱ	注射	UMNﾌｧｰﾏ	
ASP0456 ﾘﾅｸﾛﾁﾄﾞ	C型ｸﾞｱﾆﾙ酸 ｼｸﾗｰｾﾞ受容体 作動薬	過敏性腸症候群	日本 P-Ⅱ	経口	Ironwood	
ASP7991	ｶﾙｼｳﾑ受容体 作動薬	二次性副甲状腺機能亢進症	日本 P-Ⅱ	経口	自社	

3. ローカル開発品：欧州

(1) P-Ⅲ～P-Ⅱ

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
NGX-4010 ｶﾌﾟｻｲｼﾝ	TRPV1作動薬	糖尿病性神経因性疼痛	欧州 P-Ⅲ	貼付	NeurogesX	効能追加

4. P-Ⅰ

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	対象疾患	剤形	自社/導入
AGS-16M8F・ AGS-16C3F	がん （ADC技術活用）	注射	自社 （ADC技術を Seattle Geneticsから導入）
ASP0306	前立腺肥大症に伴う排尿障害	経口	自社
ASG-22ME	がん （ADC技術活用）	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]
ASP9226	神経因性疼痛	経口	自社
ASP6432	前立腺肥大症に伴う排尿障害	経口	自社
ASP9853	がん	経口	自社
ASP8232	糖尿病性腎症	経口	自社
ASP3662	ｱﾙﾂﾊｲﾏｰ病	経口	自社
ASG-15ME	がん （ADC技術活用）	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]
ASP2215	がん	経口	自社
ASP3325	高ﾘﾝ血症	経口	自社
CK-2127107	骨格筋疾患（非神経筋疾患）	経口	Cytokinetics
ASP5878	がん	経口	自社
AMG 337	胃がん	経口	Amgen [ｱｽﾃﾗｽ・ｱﾑｼﾞｪﾝと共同開発]
ASP8273	がん	経口	自社
ASP7962	変形性関節症、慢性腰痛	経口	自社

5. 開発中止品目

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	開発段階 地域	対象疾患	理由
ASP3026	P-Ⅰ	がん	戦略的な観点から開発を中止した。

【2013年11月1日　決算発表時からの変更箇所】(変更箇所に下線)

発売

・イリボーOD錠を2014年1月に発売したため、以下の記載を削除した。

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
YM060 ﾗﾓｾﾄﾛﾝ	ｲﾘﾎﾞｰOD錠 (2013年8月)	5-HT_3受容体 拮抗剤	男性における 下痢型過敏性腸症候群 (口腔内崩壊錠)	日本	経口	自社	剤形追加

承認

・ミダゾラム [歯科・口腔外科領域における手術及び処置時の鎮静] について、2013年12月に日本で承認されたため、「承認」の欄に移動した。

・イプラグリフロジン [2型糖尿病] について、2014年1月に日本で承認されたため、「承認」の欄に移動した。

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
ﾐﾀﾞｿﾞﾗﾑ	ﾄﾞﾙﾐｶﾑ (2013年12月)	ﾍﾞﾝｿﾞｼﾞｱｾﾞﾋﾟﾝ系 催眠鎮静剤	歯科・口腔外科領域における 手術及び処置時の鎮静	日本	注射	Roche	効能追加
ASP1941 ｲﾌﾟﾗｸﾞﾘﾌﾛｼﾞﾝ	ｽｰｸﾞﾗ (2014年1月)	SGLT2阻害剤	2型糖尿病	日本	経口	自社 (寿製薬と 共同開発)	

P-Ⅲ～P-Ⅱ

・フィダキソマイシン[感染性腸炎　適応菌種：(クロストリジウム・ディフィシル)] が日本でフェーズⅢ段階に入ったため、「P-Ⅲ～P-Ⅱ」の欄に移動した。

・Rilotumumab [胃がん] が日本でフェーズⅢ段階に入ったため、「P-Ⅲ～P-Ⅱ」の欄に移動した。

・ASP7991 [二次性副甲状腺機能亢進症] が日本でフェーズⅡ段階に入ったため、「P-Ⅲ～P-Ⅱ」の欄に移動した。

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ﾌｨﾀﾞｷｿﾏｲｼﾝ	大環状抗菌剤	感染性腸炎 (適応菌種：ｸﾛｽﾄﾘｼﾞｳﾑ・ﾃﾞｨﾌｨｼﾙ)	日本 P-Ⅲ	経口	Cubist	
AMG 102 rilotumumab	抗HGF抗体	胃がん	日本 P-Ⅲ	注射	Amgen [ｱｽﾃﾗｽ・ ｱﾑｼﾞｪﾝと 共同開発]	
ASP7991	ｶﾙｼｳﾑ受容体 作動薬	二次性副甲状腺機能亢進症	日本 P-Ⅱ	経口	自社	

・エルロチニブについて、非小細胞肺がん（アジュバント療法）での開発を中止したため、対象疾患から削除した。

・クエチアピンについて、大うつ病性障害での開発を中止したため、記載を削除した。

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ｴﾙﾛﾁﾆﾌﾞ	HER1/EGFR ﾁﾛｼﾝｷﾅｰｾﾞ 阻害剤	非小細胞肺がん （~~ｱｼﾞｭﾊﾞﾝﾄ療法、~~ MetMAbとの併用療法）、 小児上衣腫*	米国 P-Ⅲ	経口	自社 [Roche/ Genentechと 共同開発]	効能追加
FK949E ｸｴﾁｱﾋﾟﾝ	ｾﾛﾄﾆﾝ･ﾄﾞﾊﾟﾐﾝ 拮抗剤	双極性障害における うつ状態	日本 P-Ⅲ	経口	AstraZeneca	効能追加 剤形追加
		~~大うつ病性障害~~	~~日本 P-Ⅱ~~			

*小児上衣腫は効能追加ではないが、FDAに試験結果を提出予定。

P-Ⅰ

・AMG 337 [胃がん] をP-Ⅰの欄に追加した。

・ASP8273 [がん] をP-Ⅰの欄に追加した。

・ASP7962 [変形性関節症、慢性腰痛] をP-Ⅰの欄に追加した。

開発中止

・フェーズ1段階にあったASP3026 [がん] の開発を中止したため、リストから削除した。